

プロジェクト報告書

団体名 **特定非営利活動法人マチエール**

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

一期一笑

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のものでも可。
現代は手軽に物と手を入れることが出来る反面、手軽に物を捨てるという「使い捨て」が当たり前の時代になっています。しかし資源は有限で決して無限ではないことを忘れてはいけません。リサイクルショップなどで提供される「着物」は着る機会がない、維持が大変という事でそのままにしたいと思いつつも手放さずおき、そこに費やされた技術や材料はとて莫大の事を考慮するだけでも再利用の価値は十分にあると思えます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可。
無償提供された着物をそのまま商品として販売しても商品力が乏しく、売上に繋がらないことから、着物の商品力を高める為に何か価値をつけ、販売を促進させていきます。また着物の魅力を感じている販売層にアワードやその他のような専門性の高い商品開発と販売促進をすすめていきます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今年度は商品の多様化を課題とし、新商品の開発に力を入れてきました。昨年とは違ったアイデアでカシメーシ、ブックカバー、ティッシュケース、パワフルパック、畳の縁バッグ、カード入れ等の製作、またバック内の作りにも手をかけ、より層完成度の高い商品を生み出しました。商品の幅を持たせたことで製作や技術習得に困難さと共に作業の分担化による簡易性も生まれ、障がいを持った利用者の方々にも関われば作業が増えました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

「着物」から様々な商品が生まれ、アイデアが「着物」と違った商品に変わっていくことが実感でき、やりがいと満足度の高い作業ができたと思います。今後は作業自体の満足だけでなく、販売促進から売上増加、そして利用者の工賃アップにつながっていくことを体感し、それがまた作業へのモチベーションとなるような大きな作業サイクルが出来上がっていくのは「最高だ」と思います。ネット販売、受注生産といった専門性の高いレベルに向かっているように、これからの知恵をしっかりと、失敗と戦いながら

6. 参考資料 常に実践を心がけていきたいと思っています。

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



